

公益財団法人にいがた文化の記憶館

平成29年度 事業計画書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

展示事業

[概略]

年間の開館日は272日間、休館日は93日間。展示替えのための休館日は、平成28年度に引き続き、各展示前に11日間を充てたい。

平成29年度は企画展示4本と常設展示（前後期に展示替え）を計画。秋に、會津八一記念館特別展（貸館）が予定されている。

イベント事業

[概略]

平成29年度は企画展示の協力顕彰館などからゲストを招いて講演会など、年間数本を予定。

調査及び研究・研修事業

[概略]

平成27年度に引き続き、インフォメーションセンターとしての機能を果たすべく、文化人の調査および、それにかかるデータ構築、蓄積を重点的に進めたい。

あわせて、館運営の質を向上させるため、また他館との連携を強化するために、職員研修の機会を拡充したい。

教育普及事業

[概略]

月に一度の解説会「月いちレクチャー」のリピーターと新規顧客を増やすため、企画展示と連動して、学芸員の解説だけでなく特別講師も招いてのレクチャーを計画していく。

講演会や副読本を活用する出前授業を知ってもらうためPRを強化していく。

(1) 学芸員等による解説会「月いちレクチャー」

開催は、毎月第4土曜日 午後2時から午後2時30分（原則）

(2) 講演会など

学校や公民館などの教育機関や各種団体の要請により、館長、事務局長、学芸員

が対応（随時受付可）。その際、当館の企画展示 PR や、副読本や関連図等の販売なども実施したい。

（3）副読本を活用した講演会、出前授業など

副読本『みんなで伝えよう にいがた文化の記憶』（平成 27 年 7 月発行）を活用した講演会や出前授業の PR を強化していく。具体的な指導計画書などを作成し、県内の中学校に提案していきたい。

27 年度に続き、新潟県立教育センターの既存事業「学ぼう新潟の知恵」に職員が登録。学校の要請に応じて副読本を活用した出前授業に対応する。

連携・交流事業

【概略】

サテライト展示（PR 出張展示）への参加促進を進めるにあたり、27 年秋から開始したテレビやラジオ、新聞での広報展開を活用していきたい。その際、県内顕彰施設および団体との具体的な連携がとれるよう、広く意見を聴取し、連携の仕組みづくりに反映させたい。

（1）第 4 回にいがた文化ネットワーク協議会の開催

顕彰施設及び団体との連携・交流のあり方を見直し、平成 29 年夏季までには、第 4 回ネットワーク協議会を開催したい。

（2）機関誌「にいがた文化 vol.3」の発行

平成 29 年 2 月に「にいがた文化 vol.2」が完成し、3 月末に発送予定。29 年度は「にいがた文化 vol.3」を発行予定。

次号も当館の展示および普及活動などの事業報告と、県内顕彰施設や団体が実施する次年度の催し紹介を予定。あわせて広告掲載も検討する。

顕彰人物選定委員会

【概略】

選定委員会準備前の作業が遅れているため、29 年度は、データベースの基礎となる県内出身またはゆかりの文化人の調査を進めていきたい。

顕彰人物選定委員会の立ち上げや発足については、データ構築の進捗状況を見て、31 年度以降の発足を目指したい。

【参考資料】

別紙 1 「平成 29 年度 事業計画書（詳細）」

別紙1 平成29年度 事業計画書（詳細）

展示事業

◆年間の開館日、休館日および展覧会数（別紙2参照）

開館日	休館日	常設（展示替え数）	企画展示（本数）
272日／365日間	93日／365日間	2回	5本／5クール

(1) 常設展示

前期（4月7日～9月24日）、後期（10月6日～平成30年4月15日）で展示予定。28年度に「中国学」、「反骨の系譜」関連図のタペストリーを作成し、「文学」、「美術」、「医学」、「新潟の女性たち」を通年展示としたい。前年同様、常設展示コーナーの展示ケースで企画展示の関連資料も展示。

会期	内容	
通年 4月29日(金・祝) ～3月26日(日)	タペストリー展示	関連図（中国学・反骨の系譜）
	パネル展示	関連図（文学・美術・医学・新潟の女性たち）
		文化勲章・文化功労者・人間国宝

※資料保護のため、関連資料は2か月毎に展示替えを計画。

(2) 企画展示

クール	会期	展覧会名	内容	目標人数
I	4/7(金) ～6/25(日) 69日間	出版文化と越後人 —博文館、実業之日本社、ダイヤモンド社、第一書房—	明治中期以降、近代的な印刷技術の発展とともに、政治的な主張などを広く伝えるための新聞、雑誌の発行が盛んになりました。こうした時代の中で、出版業界および書籍流通業界でめざましい活躍をした越後人が複数います。本展では、博文館、実業之日本社、ダイヤモンド社、第一書房を興した越後人たちを紹介。 〔紹介文化人〕 大橋佐平(長岡市)、大橋新太郎(長岡市)、増田義一(上越市)、石山賢吉(新潟市)、長谷川巳之吉(出雲崎町)、池田恒雄(魚沼市) など	800人

II	7/7(金) ～ 9/24(日) 69日間	漂泊の俳人 一井上井月	小林一茶とともに長野を代表とする俳人・井上井月(1822?～1887年)は本名・勝蔵といい、長岡藩の武家の出。18歳で長岡を出て江戸へ。井月は幕末から明治にかけて歴史が大きく動いた時代に、家も家族も持たず旅に生きた漂泊の俳人。井月の生き方や俳句に共鳴したのが小説家芥川龍之介や俳人種田山頭火で、相馬御風(糸魚川市出身)や木村秋雨(上越市出身)など新潟の文人たちも井月に興味を抱いていた。 〔紹介文化人〕 井上井月(長岡市)、相馬御風(糸魚川市)、木村秋雨(上越市)ほか	900人
III	10/6(金) ～ 12/10(日) 56日間	【貸館】 「禅」 早稲田大学會津八一記念博物館・富岡コレクションを中心に	會津八一記念館特別展の第二会場。	—
IV	12/15(金) ～ 2/12(月・祝) 46日間	生誕120年記念 落谷虹児展	2018年の落谷虹児(1898～1979年)生誕120年を記念するプレ展示として、抒情画家・落谷虹児を紹介。 〔紹介文化人〕 落谷虹児(新発田市)、吉屋信子(新潟市)ほか	1,500人
V	2/23(金) ～ 4/15(日) 45日間 (29年度中は 32日間)	堀口大學コレク ション展	1958(昭和28)年、堀口大學(1892～1981年)は、神奈川県葉山町の森戸海岸近くに居を構え、家族や狆、猫とともに晩年を過ごした。大學が愛した自宅に今も残されている本や遺愛品を紹介。 〔紹介文化人〕 堀口大學(長岡市)ほか	800人
入場者数 合計				4,000人

イベント事業

(1) 企画展示関連イベント

クール	日程	事業名・内容	講師など
I	5/30(金) 14:00 - 15:30	講演会「長岡出身の出版王 大橋佐平」(仮題) 【内容】大橋佐平の伝記『龍の如く一出版王・大橋佐平の生涯』著者の稲川明雄氏(河井継之助記念館館長)を講師に招き、大橋佐平について話していただく。	講師：稲川明雄氏 (河井継之助記念館館長) 会場：メディアシップ 6F ナレッジルーム
II	7月中	映画「ほかいびと」上映会または講演会(仮) 【内容】井上井月の生涯を描いた映画「ほかいびと」(監督・脚本：北村皆雄、主演：田中泯、2016年)の上映会。または、外部講師を招いての講演会。	外部講師(未定)
V	(未定)	外部講師を招いての講演会。	外部講師(未定)

調査及び研究・研修事業

研	修	学芸員等職員研修会など
---	---	-------------

教育普及事業

(1) 学芸員等による解説会「月いちレクチャー」(別紙1参照)

	開催日	テーマ	開催中の企画展示
1	4/22(土)	出版文化と越後人①	4/7～6/25 出版文化と越後人—博文館、実業之日 本社、ダイヤモンド社、第一書房—
2	5/27(土)	出版文化と越後人②	
3	6/24(土)	出版文化と越後人③	
4	7/22(土)	漂泊の俳人—井上井月①	7/7～9/24 漂泊の俳人—井上井月
5	8/26(土)	漂泊の俳人—井上井月②	
6	9/23(土・祝)	漂泊の俳人—井上井月③	

7	10/28(土)	美術コレクター・富岡重憲① (外部講師)	10/6～12/15 會津八一記念館特別展
8	11/25(土)	美術コレクター・富岡重憲② (外部講師)	「禅」早稲田大学會津八一記念博物館・富岡コレクションを中心に
9	12/23(土・祝)	蒔谷虹児①	12/15～2/12
10	1/27(土)	蒔谷虹児②	生誕120年記念 蒔谷虹児
11	2/24(土)	堀口大學①	2/23～4/15
12	3/25(土)	堀口大學②	堀口大學コレクション展

(2) 副読本を活用した講演会、出前授業など

【参考】(平成27年度3月役員会での資料より)

事業主体	事業内容
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内市町村立中学校にて、副読本を活用した郷土先人教育に活用を軸とする。 ・県立教育センター既存事業「学ぼう新潟の知恵」に当館職員が登録し、学校の要請に応じて副読本を活用した出前授業を展開。
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校または市内教育関連施設等にて、副読本を活用した郷土先人教育を軸とする出前授業のフレームづくり。 ・学校の要請に応じて、副読本を活用した出前授業を展開。
にいがた文化の記憶館	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目的にかかる入館料減免を適用 事例1) 校外授業等での引率教員等 2) 副読本を活用する授業計画案作成にかかる観覧 ・子ども向けワークショップの開催(年数回程度) ・教諭向けに副読本活用にかかる解説会等の開催

連携・交流事業

(1) 第4回にいがた文化ネットワーク協議会の開催

項目	内容
①第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時(予定):平成29年6月～7月 ・会場(予定):メディアシップ6階 ナレッジルーム ・議題(案):平成27年度および28年度事業報告について 平成30年度以降の連携事業案について にいがたネットワーク協議会運営、協力体制について
②参加館への 展示補助	<ul style="list-style-type: none"> ・展示補助:企画展示(年3～4本) ・補助内容:展示プラン作成、広報、関連イベントなどの支援

③機関誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・発行予定：年1回発行（発行月未定） ・内容：特集ページ及び県内顕彰館などのイベントスケジュール、広告。
---------	---

【参考】にいがた文化ネットワーク協議会 年次計画案（平成25～27年度）

年度	計画案
平成25年度	にいがた文人情報ネットワーク設立による、担当（学芸員）レベルから館レベルでの交流の拡大に協力する。 当館を利活用したサテライト展示の受け入れ（年1～2本）、展示及び広報活動の補助。
平成26年度	前年度に続き、当館を利活用したサテライト展示の受け入れ（年3～4本）。 展示及び広報活動の補助。 ネットワークの醸成による、参加館同士での企画展計画、共同展覧会や事業等の立案。
平成27年度	参加館が主体となったサテライト展示による、文化的、観光的な交流人口の拡大。

（2）機関誌「にいがた文化 vol.3」の発行

判型	A4（A3二つ折り） カラー印刷 16～20頁程度
発行部数	5,000部
頒布方法	無料
頒布先	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の顕彰施設および団体、文化施設、図書館など ・寄付者、維持会員、パスポート会員など ・県内全中学校、市町村教育委員会など

顕彰人物選定委員会

◆スケジュール案

平成27～28年度	顕彰人物の調査およびデータ構築
平成29年度以降	<ul style="list-style-type: none"> ・顕彰人物のデータ蓄積、選定委員会立ち上げ準備（顕彰人物の選定、選定委員の選考など） ・選定委員会の開催に向けた準備（顕彰人物の選定など）、選定委員会の開催 ・展示への組み込み作業（相関図など）